※令和４年度以降入学生用

学校番号	3029

令和８年度　理数科

教科	理数	科目	(学)理科演習	単位数	3年前期:地学と生物と合わせて１単位 3年後期:地学と生物と合わせて２単位	年次	３年次
使用教科書		高等学校　化学基礎（第一学習社）					
副教材等		資料集：サイエンスビュー新化学資料（実教出版）問題集：セミナー化学基礎＋化学（第一学習社）					

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

前期は、１・２年に学習した内容がどれだけ定着しているかを確認し、「再度定着させていく」という作業になる。たとえ、問題に正解したとしても、「何となく」とか「うろ覚えで」ということではひねりや、ややこしい計算に惑わされてしまう。とにかく「前期にしっかり基礎を固める」という強い意志をもって取り組もう。

後期は、共通テスト演習を繰り返しやっていく。その中で自分が忘れていたこと、抜けていたことをチェックして、隙のない知識を積み上げていこう。

理科で80～90%得点できるということは合格への大きな足がかりになる。仕上げに向けて頑張ろう。

2　学習の到達目標

物質がさまざまな場面で人間生活にかかわり、役立っていることを理解し、物質の構成や物質の変化に関する見方や考え方を養うとともに、物質やその変化を探究する方法を身に付ける。また、演習課題に取り組むための力を身に付けていく。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	科学や数学における基本的な概念や原理・法則などを系統的に理解し、知識を身に付けている。観察、実験の基本操作及び自然の事物・現象を探究する技能を身に付けている。また、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見いだし探究する過程を通して、事象を科学的、創造的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。また、数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的、創造的に考察し的確に表現している。	自然の事物・現象や数学的事象に関心をもち、積極的にそれらを探究しようとするとともに、事象を科学的・数学的に考察し表現する態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期中間考査まで	電池	電池の原理 電池の歴史 実用電池	a:基本的な概念を理解し、知識を身に付けている。 b:電池電気分解にまつわる量的関係の計算を通じて、酸化還元反応から考えた電池の原理を説明することができる。 c: 電池の原理・歴史、実用電池について関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査	課題
	金属	鉄 アルミニウム 銅 金属のリサイクル	a:基本的な概念を理解し、知識を身に付けている。 b:金属の利用について、イオン化傾向を踏まえた原理を説明することができる。 c: 金属の製錬、金属の性質と人間生活への利用について関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査	課題
	物質量	物質量の定義 物質量の算出方法 物質量を用いた質量や体積の算出	a:基本的な概念を理解し、知識を身に付けている。 b:量的関係を追うことで反応の中で生成する物質量をイメージと共に捉えることができる。 c:物質量、化学の基礎法則、化学式･化学反応式と量的関係について関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査	課題
	結合・結晶	原子の構造と電子配置 化学結合 分子の構造と極性 結晶の種類と特徴	a:基本的な概念を理解し、知識を身に付けている。 b:分子の成り立ちについて電子式を用いた表し方ができるとともに、電子式から分子の形を考察することができる。 c: 原子の構造と電子配置、化学結合、分子の構造と極性、結晶の種類と特徴について関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査	課題
前期期末考査まで	量的関係	化学の基礎法則 溶液の濃度 化学式と式量計算 化学反応式と量的関係	a:基本的な概念を理解し、知識を身に付けている。 b:化学の諸法則を利用して種々の反応について改めて考えを深め、説明することができる。 c:金属のイオン化傾向、電池の原理・歴史、実用電池に関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査	課題
	生活	洗剤 食料の確保 食品の保存	a:基本的な概念を理解し、知識を身に付けている。 b:洗剤の原理や食品の保存の原理を化学反応を交えながら説明することができる。 c:洗剤、食料の確保、食品の保存について関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査	課題
	実験	実験器具と基本操作 混合物の分離実験 溶液の調製と滴定実験 気体の発生と捕集	a:基本的な概念を理解し、知識を身に付けている。 b:化学原理に基づいた実験操作の説明をすることができる。 c:化学基礎で取り扱う実験について関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査	課題
後期以降	実践演習	択一式問題の演習	a:分野間を関連付けて理解し、基本的な知識を身に付けている。 b:単元を横断した見方考え方をもち、応用力を要する現象について説明することができる。 c:化学基礎全分野において関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査	課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度